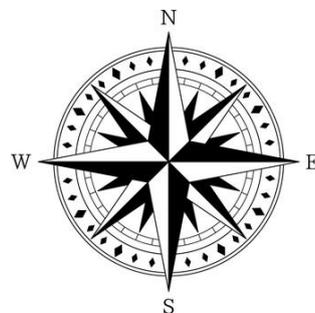
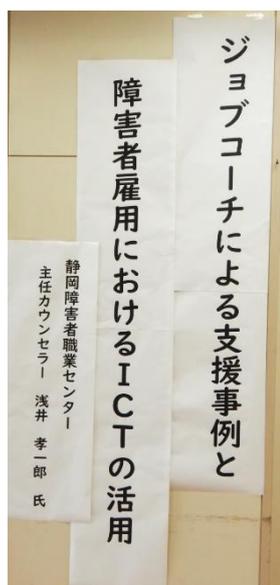


らしんばん
羅針盤



R5. 9 進路課だよりNo6 文責：岩館

～就業促進協議会が開催されました～



特別支援学校志太榛原地区就業促進協議会と志太榛原地域自立支援推進会議就労部会との共催で、9月7日に行われました。就業促進は、生徒の進路先、職場実習先拡大のために行うもので、参加者は障害者雇用に関心がある企業、職場実習を受け入れてくださっている企業です。どのような仕事なら行うことができるか、今後の雇用をどのように進めていこうかと考えてくださっています。企業の方にとって、学校や生徒のことを理解し就業へつなげていくために、高等部を中心に作業学習の様子を見学しました。製品の扱い方、報告や返事などの言葉づかい等、働く姿を見ていただくことができました。



また、ジョブコーチによる支援事例と障害者雇用におけるICTの活用の講演もありました。どんな支援があれば、高等部を卒業した生徒を会社に迎えることができるのか、自分たちの会社でどのような仕事を任せられるのか等について前向きに考えていただける機会になりました。

卒業後の進路先が新規開設しました～紹介～

・就労継続支援B型

株式会社スキップ 2023年8月1日開所 電話054-639-7450

藤枝駅から徒歩5分。見学できます。興味のある方は、担任を通して進路課へお知らせください。

〒426-0067 藤枝市前島1-13-17



・福祉型大学

高等部を卒業したけど、もう少し学びを深めたい、社会で生きる力を身に付けたい等、生活訓練2年間、就労移行支援事業2年間を活用した最長4年間の学びの場です。※障害福祉サービスの利用となります。修了・卒業しても大学卒業の資格は得られません。

明光学館大学

2024年4月開設予定

電話054-270-7110

対象は、中学部・高等部卒業した人、令和6年3月卒業見込みの人

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠1-3-3 レキシア鷹匠5階

カレッジまどか

2024年4月開校

電話070-5649-1491

対象は、18歳以上の障害や難病ある人 入学面接申し込み9/1～受付開始

〒420-0034 静岡市葵区常磐町1-4-12 第1ヨシコンビル3階

自立に向けて～中学部での取組～

今号では、中学部の取組について、お伝えします。

中学部では、これまでスクールバスや保護者の方の送迎で通学していた生徒が、高等部進学や卒業後の社会自立に向けた必要な力を身に付けるために、自力通学体験期間を11月と2月に5日間ずつ設けています。この期間は、中学部の職員も生徒の通学状況を見て指導、支援をします。練習時に歩行、経路、乗車などのチェックをし、合格したら自力通学開始につながります。※体験期間以外の自力通学練習もできます。

《自力通学の意義》

- 社会に出ていくための貴重な経験として、生徒の自信につながり自立心や社会性を育てる。
- 社会自立に向けた生活のスキル（身支度、物の管理、交通機関利用、乗り降りの手順、マナー、交通ルール、標示の理解など）を身に付ける。
- 自力通学は、スクールバス通学では得られない経験（自然の変化、人混みや街や人の様子、人とのふれあいなど）を獲得できる。



《自力通学の形態》

1	2	3
自宅からスクールバスのバス停までの自力通学	公共交通機関を利用した自力通学 ・藤枝駅から学校までのバス通学（駅まで、送迎や徒歩） ・バスを乗り継ぐ、または、JRとバスを乗り継いで通学。	徒歩または自転車による自力通学 ※公共交通機関を利用しない

自力通学練習は、学校生活では得られない社会での経験を積むことができます。家から学校までの全行程の練習は生徒にとっても負担が大きいです。最初は「バス停から学校まで」次は「駅から学校まで」など、段階的に自力通学の距離を延ばしていくことで、自信をつけていくことができます。移動手段を増やすことは、高等部での職場実習先の選択肢を広げ、さらには進路選択の幅を広げることにもつながります。御家族の時間的・精神的な支えがあってこそその自立につながります。大変なことも多いと思いますが、自力通学体験期間を通して、チャレンジしてほしいと中学部では考えています。

今年度も自力通学練習に取り組んでいる生徒がいます。起床時刻を早くしたり、時刻を意識して行動することが必要になります。保護者からは「支度が前よりも早くなった」「本人が頑張っているのが伝わってくる」などの声を聞いています。一人で通学することを通して、学校生活の中でチャレンジすることが増えているため良い方向に心が動いていることがうかがえます。正に「かわいい子には旅をさせよ」です。

